



郷小だより

茅ヶ崎市立浜之郷小学校

2025年2月1日

2月号

校長 安倍 武雄

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

「大人は子どもの安心基地」

1月23日は新入生保護者説明会でした。新1年生（年長さん）と保護者の皆さんが体育館に集合しました。初めて見るものに目をキラキラさせてきょろきょろしている小さい子どもたちが本当に愛らしく、4月の入学式が待ち遠しくなりました。

冒頭のご挨拶では、こんな話をしました。

「お子様のご入学を控え、楽しみにすると

同時に不安を感じている子どもも保護者の方もいらっしゃると思います。いくつか入学までにやっておくとよいことを親目線でお話したいと思っています。まず、基本として覚えておいていただきたいことは、「大人は子どもの安心基地であるべきだ」ということです。子どもは一般的に（特に小さい子どもほど）大人にくっついてたがるものです。くっついて安心感にひたって、パワーを蓄えていくのです。それは大きくなってからでも変わりません。5・6年生になっても精神的にはくっついていたいのです。くっついて安心してパワーを蓄えることができなければ、子どもは安心して外の世界に飛び出そうとしないのです。（東京大学教授 遠藤利彦先生のご講演より）幼稚園、保育園から学校へ上がることは、子どもにとって未知の海に放り出されるくらい不安なものです。背の高いお兄さんお姉さん、広い校舎、人数の多さ…。どれをとっても、怖いものです。ぜひ、母も父も、祖父も、祖母も「大人は子どもの安心基地」になって、子どもたちが安心して外の世界を探索（冒険）できるよう、励ましてあげてほしいと思います。

具体的には、
・うれしい出来事には抱き合って喜び
・登校の練習に手をつないで出かける
・自分の楽しかった小学校の思い出をお話する…

ほかにもたくさん方法があると思います。具体的には皆さんで考えてみてください。教職員一同、新しい1年生が学校に元気に通ってこられることを心より願っています。

これは、新しく中学校に進学する6年生はもちろん、一つずつ進級するほかの学年にも少なからず当てはまることでしょう。安心できる家庭、学校、学級で子どもたちがのびのびと育っていかれることを願っています。

「校長とお話し会2」

右のQRコードよりどうぞお気軽にお申し込みください。今回は、「これからの学力と浜之郷小学校の学び」をテーマにお話しを行います。



お申込み QRコード↑

日時 3月5日（水）15:30～16:30
場所 会議室またはランチルーム
持ち物 うわばき、のみもの、筆記用具

茅ヶ崎市文化スポーツ財団の文化芸術プログラムを活用して、Dual KOTO×KOTOのお二人にお越しいただいて、6年生が箏の演奏会を行いました。さすが世界的に活躍されている演奏家で「さくら」や「きらきら星」などの有名な曲から、自分たちのオリジナルまで、素晴らしい演奏を聞かせてくださいました。音色の美しさに、脳がしびれる感覚さえしました。最後に、校歌を演奏していただき、みんなで歌って締めるといふ心にくい演出も。本物の力を見せていただいた素晴らしい演奏会でした。

